

安川病院の院内感染防止対策の取り組み

1 院内感染防止対策に関する基本的考え方

院内感染は、患者さんや医療従事者に多大な不利益を生じます。その為、感染対策は最重要課題で、安川病院は、医療の質を保証する立場から、院内感染対策委員会を設置し、感染の予防・再発の防止対策の適切な対応を実践する必要があります。

2 院内感染防止対策に関する管理体制

院内感染防止対策委員会

病院全体として感染対策を確立し、医療の安全性の向上に関する重要事項を審議決定する機関です。院内感染に関する検査データや抗菌薬の適正使用、患者様の状態などの情報を収集して解析と評価を行い、各部署に感染対策の助言を行います。

3 職員への教育・啓発

全職員を対象として、院内感染に対する知識の向上のため、年2回以上の講習会を開催しています。

4 院内感染発生時の対応と状況の報告

日常的に当院における感染症の発生状況を把握するシステムとして、サーベイランスを実施し、その結果を感染対策に生かしています。

院内感染は発生したときに迅速に対応し、拡大することがないように追跡調査、感染対策の助言等を行っています。

5 職員感染に関する対応

職員の健康管理も感染対策として重要です。針刺し、血液曝露後の対策、対応マニュアルを作成しています。

6 院内感染防止対策の推進のための必要な方針

院内感染防止対策の推進のため、「院内感染防止対策マニュアル」を作成し、マニュアルに応じた感染対策を全職員の協力のもとに、遵守率を高めるように努力します。

常に感染の動向に着目し、「院内感染防止対策マニュアル」を改訂し職員に周知します。

7 他の医療機関との連携体制

当院は、感染対策の強化、医療関連感染発生時に助言を受けるため、以下の医療機関と連携を行い、情報を共有します。

- ・ 福井循環器病院

当院は、基本診療に関する施設基準 感染対策向上加算2を届出しています。